

報道関係各位

一般財団法人 NHK インターナショナル
NHK international, inc.

文化庁メディア芸術祭 長崎展

「ワンダリングワールド ～メグル・ココロ・オドル～」開催のご案内

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。これらの受賞作品を展示・上映する、文化庁メディア芸術祭 長崎展「ワンダリングワールド～メグル・ココロ・オドル～」を2020年1月8日(水)より開催いたします。

長崎市のベイエリアを中心に、地域の人が身近に体験でき、楽しめるサイトスペシフィックな展覧会です。

文化庁メディア芸術祭 長崎展

「ワンダリングワールド ～メグル・ココロ・オドル～」開催概要

会期: 2020年1月8日(水)～1月19日(日)

メイン会場: 長崎県美術館(長崎市出島町2番1号)

サテライト会場: 長崎県庁舎

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館

長崎港松が枝国際ターミナル

入場料: 無料

公式サイト: <http://mediaarts-nagasaki.com/>

※最新情報や詳細などは、公式HPに順次掲載します。

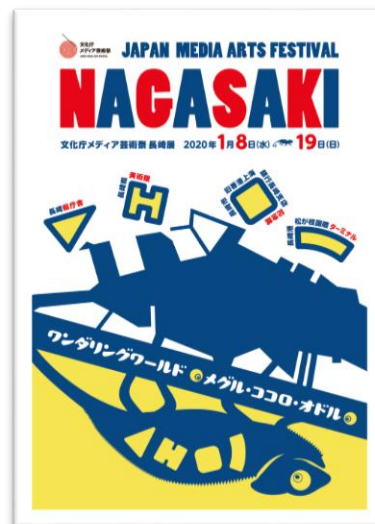
主催: 文化庁

共催: 長崎県、長崎県美術館

協力: 長崎市、長崎国際観光コンベンション協会、アイランド ナガサキ、NHK長崎放送局

企画ディレクター: 森山 朋絵(東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター)

企画・運営: 一般財団法人NHKインターナショナル



本件に関する問い合わせ先

文化庁メディア芸術祭 長崎展 運営事務局(一般財団法人NHKインターナショナル内)

E-mail: jmaf-info@nhkint.or.jp TEL: 03-3464-1889 (平日 10:00～18:00)

展覧会テーマ 「ワンダリングワールド ～メグル・ココロ・オドル～」

私たちは、まだ見ぬ風景を求め、新しい体験を求めて世界を旅します。なじみ深いホームを離れアウェイで繰り広げる冒険は、メディア芸術の世界で独創的な試みを続けるアーティストたちの姿そのものかもしれません。メディア芸術・メディアアートの領域に限らず、ひとりのアーティストの手が「創造」というより、AI や大勢の手によって「生成」される作品がいま世界的にも注目を集めています。同様に、地域とつながった複数の小さな場や作品群をめぐり、点群が集まって形成されたひとつの展示を体験し俯瞰的に考えることが、私たちの身近にあるものを再び創造的に「発見」することになるのです。

本展覧会では、長崎県美術館を中心にサテライトを形成する各会場にあわせ、地域連携要素を持つ作品、映像の中に飛び込んで戦う姿が多くの体験者たちとつながる作品や、長崎の歴史的な風景と現在を往来するAR作品、スタンプラリー的にまちや会場を回遊して楽しむ作品、ユニークな記念写真が撮れるフォトセッションなどを展示します。また会期中には、多様な体験ワークショップやイベント、トークを開催します。長崎の水辺をワンダリング(回遊)しながら、心おどる新たな世界を探してみましょ。

—主な展示・上映作品—



『チコちゃんに叱られる!』

『チコちゃんに叱られる!』制作チーム

[テレビ番組／第22回エンターテインメント部門大賞]

©NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved.

* 会期中 チコちゃん来展予定



『のらもじ発見プロジェクト』

下浜 臨太郎／西村 斉輝／若岡 伸也

[ウェブ、オープンソースプロジェクト／

第18回エンターテインメント部門優秀賞]

© 2014 Noramoji Project



『HERO HEROINE』

GRINDER-MAN

[メディアパフォーマンス／第22回アート部門審査委員会推薦作品]



『Unlimited Corridor』

『Unlimited Corridor』制作チーム(代表:松本 啓吾)

[VR システム／

第20回エンターテインメント部門優秀賞]

© 2016 Unlimited Corridor PROJECT Team



『この世界の片隅に』

片渕 須直

[劇場アニメーション／

第21回アニメーション部門大賞]

© Fumiyo Kouno/Futabasha/Konosekai no Katasumini Project



『ペンギン・ハイウェイ』

石田 祐康

[劇場アニメーション／第22回アニメーション部門優秀賞]

© 2018 Tomihiko Morimi, KADOKAWA / Penguin Highway Production Committee

※その他の展示作品は確定次第、順次公式サイトに掲載します。

—会場案内—

【メイン会場】

長崎県美術館

所在地:〒850-0862 長崎市出島町2番1号

長崎ベイエリアに隣接した長崎県美術館は「呼吸する美術館」をコンセプトに2005年4月に開館しました。生き物が呼吸をするように、美術館の外にあるさまざまな情報や刺激を吸い込み、それを新しい形の刺激として再び外に放出しながら、周囲の人や環境とともに成長を続けてゆく、生きた美術館を目指しています。

本展覧会のメイン会場として、多彩な文化庁メディア芸術祭の受賞作品の展示・上映のほか、ワークショップ、トークなどのイベントを開催。会期中は、サテライト会場への回遊の拠点として、様々な情報発信を行います。



【サテライト会場①】

長崎県庁舎

所在地:〒850-8570 長崎市尾上町3番1号

2017年12月に完成した、長崎港に隣接した庁舎は、吹抜けのエントランスロビーや長崎港が一望できる展望テラスなど、長崎の顔として、多くの県民や観光客から親しまれています。

長崎県庁舎では、長崎を舞台に描かれたマンガ・映像作品の展示・上映など、長崎の様々な表情を来訪者に伝えます。



【サテライト会場②】

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

所在地:〒850-0921 長崎市松が枝町4番27号

明治37年に建てられた国の重要文化財である洋館。併設のミュージアムでは長崎と中国との深い関わりを学ぶことができます。この会場では、中国人作家を中心とした短編アニメーション作品を上映します。



【サテライト会場③】

長崎港松が枝国際ターミナル

所在地:〒850-0921 長崎市松が枝町7番16号

2010年に建設された、大型の国際クルーズ船が寄港する国際ターミナル。文化庁メディア芸術祭受賞作品の映像プログラムをモニター上映し、訪日客に本展覧会への周知・関心を図ります。



文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。



第22回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の様子

NHKインターナショナルは、文化庁が主催する文化庁メディア芸術祭の関連事業である「文化庁メディア芸術祭 地方展」の企画運営を受託しています。